

市民と議会をつなぐ

市議会だより

SHINJO SHIGIKAI DAYORI

12月定例会

No.171

2026.2.10



12月定例会の議案等 …… P2～3

14人が一般質問 …… P4～11



←新庄市議会
HPはコチラ

～新庄市指定有形民俗文化財・新庄東山焼～
新庄東山焼は、天保12年に開窯された新庄市の伝統工芸品です。地元産の陶土と、「出羽の雪のかげりの色」と例えられる澄んだ青みの海鼠釉（なまこゆう）が特色です。昭和62年に新庄市指定有形民俗文化財に指定され、現在も伝統を継承しています。

10月臨時会

10月8日、令和7年度補正予算1件を原案のとおり可決しました。

審議された議案

種類	番号	件名	結果
【市長提出】			
議案	第66号	令和7年度新庄市一般会計補正予算（第5号）	可決

11月臨時会

11月20日、報告1件を受け、議案1件を原案のとおり可決しました。

審議された議案等

種類	番号	件名	結果
【市長提出】			
報告	第11号	損害賠償の額の決定についての専決処分の報告について	—
議案	第67号	新庄エコロジーガーデン原蚕の杜駐車場整備工事請負契約（令和7年議案第35号）の一部変更について	可決

12月定例会

最終日、12月17日、議案14件、令和7年度補正予算5件を原案のとおり可決しました。
また、追加提案された議案1件、令和7年度補正予算4件を原案のとおり可決しました。

審議された議案

種類	番号	件名	結果
【市長提出】			
議案	第68号	令和7年度新庄市一般会計補正予算（第6号）	可決
	第69号	令和7年度新庄市国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）	
	第70号	令和7年度新庄市介護保険事業特別会計補正予算（第3号）	
	第71号	令和7年度新庄市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第2号）	
	第72号	令和7年度新庄市水道事業会計補正予算（第3号）	
	第73号	最上広域市町村圏事務組合規約の一部変更について	
	第74号	新庄市市税条例の一部を改正する条例について	
	第75号	新庄・最上さくらが丘斎苑の管理を行わせる指定管理者の指定について	
	第76号	児童福祉法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例について	
	第77号	新庄市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	
	第78号	新庄市萩野児童センターの管理を行わせる指定管理者の指定について	
	第79号	新庄市升形児童館の管理を行わせる指定管理者の指定について	
	第80号	新庄市エコロジーガーデンの管理を行わせる指定管理者の指定について	
	第81号	新庄市民プラザの管理を行わせる指定管理者の指定について	
	第82号	新庄市立図書館の管理を行わせる指定管理者の指定について	
	第83号	新庄市体育館等の管理を行わせる指定管理者の指定について	
	第84号	新庄市農業委員会の委員等の定数に関する条例の一部を改正する条例について	
	第85号	新庄市水道給水条例及び新庄市下水道条例の一部を改正する条例について	
	第86号	最上圏域下水道共同管理協議会規約の一部変更について	
第87号	令和7年度新庄市一般会計補正予算（第7号）		
第88号	令和7年度新庄市介護保険事業特別会計補正予算（第4号）		
第89号	令和7年度新庄市水道事業会計補正予算（第4号）		
第90号	令和7年度新庄市下水道事業会計補正予算（第3号）		
第91号	新庄市一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例について		

議案に対する議員の賛否

賛否の分かれた議案等をお知らせします。 ○ → 賛成 ● → 反対

議案等番号	会派名	新政・結の会										共に創る市民の会				会派に属さない議員	採決結果		
		小嶋富弥	小野周一	高橋富美子	佐藤卓也	山科正仁	山科春美	渡部正七	鈴木法学	辺見孝太	鈴木啓太	坂本健太郎	田中功	伊藤健一	今田浩徳	新田道尋		佐藤悦子	亀井博人
議案第74号	新庄市市税条例の一部を改正する条例について	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	可決
議案第91号	新庄市一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例について	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	棄権	棄権	○	可決
請願第5号	道路復旧工事についての請願（※1）	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	継続審査

※議長は採決に参加しません。

※1 継続審査することについての賛否を諮っています。

請願の審議結果

件名	請願者	紹介議員	結果
新庄市職員の適正な人員確保と定着率向上に向けた措置を求める請願	新庄市職員労働組合 執行委員長 井上 勝人	鈴木 啓太 辺見 孝太	採択
道路復旧工事についての請願	高橋 由貴	佐藤 悦子 坂本健太郎	継続審査

常任委員会の報告

総務文教常任委員会の主な質疑

●議案第74号
新庄市市税条例の一部を改正する条例について

Q 都市計画用途地域になると都市計画税が農地にも課税されるのはどうか。
A 地方税法、市税条例の定めと主旨にのっとり、用途地域のうち一部のみを課税区域から除外するような不均一課税はできない。また、用途地域内の農地は市街地化を想定しているため、都市計画税の課税が相当である。

●議案第81号

新庄市民プラザの管理を行わせる指定管理者の指定について

Q 団体の職員の賃金や黒字額はいくらか。
A 人件費のトータルの金額しか把握しておらず、また、指定管理料の収支は同額となっている。
Q 指定管理料は1年ごとに協議できるのか。
A 年度協定で経費面について毎年協議している。

Q 3件とも1団体しか応募がないことについてどう考えているか。
A もともと受託できる団体が市内では多くなく、難しい課題であると考えている。

産業厚生常任委員会の主な質疑

●議案第80号

新庄市エコロジーガーデンの管理を行わせる指定管理者の指定について

Q 指定管理開始が令和8年4月1日だが、準備期間を設けるのか。
A 今回議決いただいた後、引継ぎや指定管理業務の内容の共有、エコロジーガーデンに関する情報共有など、今年度からやりとりを進める基本協定を締結する。

●議案第85号
新庄市水道給水条例及び新庄市下水道条例の一部を改正する条例について

Q 被災地以外のところから応援いただけるという認識でよいか。
A 被災地以外の自治体の市町村長が指定した業者でも対応できるようにする。

●請願第5号

道路復旧工事についての請願

Q 基本的にはルールの中でやっつけていく必要があるが、新庄市でも災害が増えてきている。今後、災害等に対応した特例的な対応ができる仕組みも必要となってくると思うがどうか。
A 現時点では、条例や施行規則のルールの中でいくと、なかなか手が出せない。想定していないような規模の災害が頻発する状況になっているのも事実であるため、勉強する必要があると認識している。

【主な意見】

・現状のルールの中では難しい部分もある反面、住民の方が多く署名されたことから、災害により困っている部分もある。そういったことも踏まえ、もう少し調査研究する期間が必要ではないか。



審議された議案

議員の賛否

請願の結果

常任委員会報告

一般質問

常任委員会調査研修報告

議員研修等報告

一般質問

一般質問は、12月8日、9日、10日の3日間、14名の議員が行いました。

質問の項目及び要旨は、質問者の通告原稿に基づき掲載しています。

※掲載している文章は、抜粋し、要約したものです。詳しくは各議員のQRコードから動画をご覧ください。

ねえ、かむてんおしえて!

一般質問って何?



一般質問とは、議員が市政全般のことについて、執行部に質問することじゃ。

かむてん©新庄市×富樫義博

12月定例会一般質問の質問者と質問事項

山科 正仁

1. 新庄IC付近における道の駅整備構想に関する今後の方向性と市の判断について **P5**
2. 免許返納高齢者の移動支援を制度化する仕組みづくりについて **P5**

坂本健太郎

1. 持続可能な熊対策の構築に向けて — 猟友会との連携強化と市民協力の促進 — **P5**
2. 公共サービスを支える職員の処遇改善に向けた制度的対応について **P5**
3. 部活動の地域展開に伴う“展開期支援”と環境づくりについて

渡部 正七

1. 「泉田保育所の整備」について
2. 「新庄市子どもスマイルプラン」について **P6**
3. 「学びの多様化学校」について **P6**
4. 「文化芸術の振興」について

鈴木 啓太

1. 児童生徒の通学時の安全確保について **P6**
2. 給食費の無償化について
3. スマート農業の推進について

田中 功

1. 市民提案事業の継続と制度化について
2. インターチェンジ周辺の「道の駅」整備について **P7**
3. 学校再編と義務教育学校の方向性について **P7**

亀井 博人

1. 雪対策について
2. 住みよさのために
3. 新庄まつりについて **P7**
4. 市有緑地について
5. 道の駅周辺について **P7**

伊藤 健一

1. 新庄開府400年記念事業の進捗状況について
2. 深刻化するクマ出没と市民安全確保のための施策 **P8**
3. 東北農林専門職大学生向けの住宅について **P8**

山科 春美

1. 泉田保育所の今後のあり方について **P8**
2. 市民連携事業について **P8**
3. 市の広報について
4. 東北農林専門職大学との連携について

高橋 富美子

1. 子宮頸がん及びHPV関連がんの撲滅に向けて
2. 子どものネット依存ゲーム依存対策について **P9**

辺見 孝太

1. 財政調整基金の適正規模と効果的な活用について
2. タクシードライバー不足への対応について
3. 屋内遊戯場の検討状況について **P9**

小嶋 富弥

1. 持続可能な市政運営について **P10**
2. 学校教育について **P10**

今田 浩徳

1. 地域農業を守る担い手の確保と持続可能な市農業の将来展望の検討を **P10**

佐藤 悦子

1. 消費税減税こそ、物価高騰対策として必要ではないか **P11**
2. 誰もが安心して、医療と介護を受けられる新庄市にするために **P11**
3. 人口減少の中での公共施設管理計画について
4. 人口減少の中、宅地開発よりも、既存の住宅の活用を
5. エネルギー自給、温暖化ストップの新庄市へ

鈴木 法学

1. 社会体育施設の整備について **P11**
2. ネーミングライツについて **P11**
3. クマ対策について

質問動画はこちらから



IC付近道の駅構想と高齢者移動支援



やましな まさひと 議員
山科正仁

◎巨額の事業費と長期的な財政負担を伴う計画である「新庄IC付近道の駅」構想の「民意の反映、財政負担の見通し、官民連携の現実性」を具体的に伺う。

市長 本事業は8市町村が恩恵を享受できることを目指し、物産振興・観光での連携が進むことで、経済効果だけではなく地域の魅力向上・交流拡大など幅広い波及効果が期待されます。

計画の具体化は、検討会の作業部会を通じ、住民・関係者へのヒアリングを行って進めます。また、

財政負担・官民連携については、

国の交付金等の制度を引き続き精査し、より有



未来を見据えた市政を！

利な活用を図ります。勉強会においては、民間事業者の活力を活かす官民連携が不可欠ととりまとめたため、民間双方による対話の機会を継続的に設けたいと考えています。

◎免許返納を安心して選択できるようにするため、「移動支援全般を条例により制度的に位置づけて早急に進めること」が必要と考えるが見解を伺う。

市長 本市では、高齢者の運転による交通事故を減らすため、免許を自主返納した満70歳以上の方へ市内を運行するバス・タクシー利用券を交付し、高齢ドライバーが免許を返納しやすい環境を整えています。

今後は高齢化が進むことを踏まえ、通院、買い物などに使われる公共交通の維持確保を急務の課題と認識しています。

免許返納高齢者の移動支援について安心感を持つていただくため、条例を制定することも考え方の一つと認識していますが、交通政策全般についての考え方も整理する必要がありますと考えています。

現在、市では公共交通に関する計画を策定していません。まずは現状を分析し、今後の高齢者の移動支援の在り方も含め、公共交通全般について公共交通事業者とも協議のうえ、公共交通に関する計画の策定を進めたいと考えています。

質問動画はこちらから



官民・市民協働の熊対策へ



さかもと けんたろう 議員
坂本健太郎

◎市街地への熊出没が増える中、早朝の対応、見回り、駆除後の処理等が猟友会頼みになっている現状に対する認識を伺う。また、持続可能な熊対策とするため、市民総ぐるみでの対応を考える必要があると考えるが、市の認識を伺う。

市長 クマ対応は市と警察、猟友会が連携して取り組んでいます。クマの出没件数・捕獲件数の増加に伴い、罾の見回りや捕獲後の処理など、猟友会の負担が増加していると認識しています。そのため、負担軽減に係る支援が喫緊の課題と認識し、本年9月定例会で補正予算をご決いただき、装備品の充実などの支援を行ったところとです。

市民総ぐるみでの対応については、里山と市街地の間



熊出没、危険と隣り合わせの対応現場

の緩衝地帯の整備のほか、収穫を行わないクマやカキなどの樹木の伐採による誘因物の除去などについて市民へ周知し協力を呼びかけています。自治会や集落単位での活動がより効果を高めることにならると考えているため、様々な機会を捉え情報提供や呼びかけを行うとともに、緩衝地帯の環境整備及び誘因物となる樹木伐採に対する補助制度について検討していきます。

◎指定管理制度において、指定管理料の水準が長年据え置かれており、職員の処遇改善や人材確保に支障を来している。公共サービスの質と持続可能性を支える制度の転換が求められると考えるが、市の認識と今後の対応を伺う。

市長 本市においては、施設の管理に要する経費について、過年度の実績をもとに毎年度積算することとしています。これは、物価の変動や施設ごとの特殊事情により細かく対応するために見込むことのできなかつた経費については、その都度、指定管理者との協議により対応しています。

指定管理者の収入となる利用料金の設定手法や、それをどのように指定管理料に反映させるかなどを含め、今後も指定管理者のご意見を十分に聴きながら、本市の実情に合った、よりよい制度運用が可能となるよう努めます。

審議された議案

議員の賛否

請願の結果

常任委員会報告

一般質問

常任委員会視察研修報告

議員研修等報告

多様な遊び・学びの場の環境整備を

質問動画は
こちらから



わたなべ しょうしち 議員
渡部 正七

◎こども・若者も意見表明や社会参画できる機会の確保や環境整備と機運の醸成の推進について伺う。

市長 本市では、こどもや若者の声を市政やまちづくりに反映させるための基礎資料として、今年度、小学生から高校生までを対象とした「こどもの居場所について」のアンケート調査を予定しています。

この調査における「回答しやすい環境の整備」の取組みとして、小中学生に対しては、学校で日常的に使用している学習用タブレット端末を活用し、こども自身が直接回答できる形式と



新庄市こどもスマイルプラン

します。また、高校生については、スマートフォン等からインターネットを通じて回答できる仕組みを整えています。

こどもたちが使い慣れたツールを用いることで心理的なハードルを下げ、安心して自分の思いを伝えられる環境を整えるとともに、こども自身の声を直接吸い上げること、こどもが自由に意見を表明できる意識の醸成を図ります。

◎学校に行きづらく不登校の経験がある児童生徒が、学び直しに取り組むことができる「学びの多様化学校」について設置を検討されたことはあるか。また、今後設置予定はあるのか伺う。

教育長 今年度、市教育委員会及び市長会で上山市の学びの多様化学校を視察したり、地区の教育長会で研修を行ったりしてきました。学びの多様化学校では、教育課程にゆとりを持たせ、現学年の学習に加えて、学び直し等に充てる時間の確保に取り組まれており、こどもたちの学習の保障を学校経営の重点の一つとしていました。

今後も、学びの多様化学校に関する実践に学びながら、本市でのニーズがどのくらいあるのか、他の市町村、とりわけ近隣町村の動向も注視しながら研究を進めていきます。

質問動画は
こちらから



スクールバス基準の見直しを

◎猛暑や市街地での熊の出没等、通学時のリスクが高まる中、これまで以上に安全安心な通学路の確保が求められています。本市では現状をどのように認識しているか伺います。

教育長 現在、安全確保対策として、学校や警察、道路管理者等と連携し、危険箇所の点検・改善を行っています。

スクールバスの運行は、全ての児童生徒に公平公正なサービスの提供を行うことを前提としたうえで、熱中症リスクや防犯上の観点など複合的・総合的に判断し、距離基準の見直しを検討する必要があると認識しています。

しかし、熊の出没のような突発的で広域的に関わる事案については、「クマ等野生生物出没対応ガイドライン」に基づき、保護者の方々にも登下校の送迎等にご協力いただく場合があります。

◎距離基準だけでなく、児童生徒の発達段階における体力差や季節的なりすく等を踏まえ、スクールバスの乗車基準を検討すべきではないでしょうか。

教育長 スクールバスの距離基準は現在季節によって違っており、小学校では通常は3キロメートル以上となっていますが冬季は2キロメートル以上、中学校では通常は5キロメートル以上となっていますが冬季は3キロメートル以上となっています。これに加えて、熱中症対策についても検討が必要ではないかということになっていますが、まずは教育委員会で検討しながら、その方向性を定めていくことになるため、まずは現状を把握するところから始まっていくものと考えています。



すずき けいた 議員
鈴木 啓太



スクールバスによる通学支援

審議された議案

議員の賛否

請願の結果

常任委員会報告

一般質問

常任委員会視察研修報告

議員研修等報告

質問動画はこちらから



八向地区小中学校統合・再編計画は

統合される八向地区小中学校



統合計画のある八向地区小中学校

◎八向学区で児童生徒数の減少が進んでいる。懇談会などを開催し地元意向の聞き取りを行っているが、学校再編の判断基準と教育の質を確保する観点からの再編の考え方を伺います。

教育長 学校再編の考え方については、文部科学省が作成した「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引き」をもとに、地域の実情や通学条件を考慮し、住民の理解と協力



田中 功 議員

を得ながら、その状況に応じて判断しています。

再編の考え方については、まず小規模校の課題として、児童生徒にとつては、集団の中で多様な考えに触れ切磋琢磨することで成長する機会が少ないこと、教職員にとつては、職員数が少ないことで一人ひとりの事務負担が増えることなどが挙げられます。

現在、「新庄市立学校施設整備計画」において、学校施設の整備方針を示していますが、現状を踏まえ、来年度新たな整備計画の策定を行うため、その中で学校配置の検討を行います。

◎『新庄IC周辺道の駅』計画は勉強会から検討会に移行されて、より具体的に前進するものと期待されています。商工会議所との連携体制と7町村との連携、市単独整備の可能性について伺います。

市長 8市町村連携と市単独整備の可能性について、これまでの経過を踏まえ、8市町村が連携する形での事業の検討を進めてきました。

また、商工会議所との連携体制について、10月に再開した検討会において、連携して進めていくことについて、改めて合意を得ることができたところです。

質問動画はこちらから



道の駅周辺 まつり期日

◎猛暑により熱中症が心配される中、新庄まつりの主役である子どもたちの健康と安全を守るため、新庄まつりの期日見直しの議論について伺います。

市長 近年の新庄まつりは気候変動の影響などにより猛暑での開催となっており、新庄まつり実行委員会ではまつり参加者や観覧者の熱中症対策を強化しています。特に中心市街地やアビエスでの現場対応については、医療や救急の関係者のご理解とご協力を得ながら、救急患者を最小限に食い止めていただいている状況です。

暑さ対策として、まつり日程の変更も一つの手法であると考えますが、参加者や観覧者の安全確保は当然ながら、まつりの歴史や伝統に加え、開催にあたり最上地域全体の学校や企業などの活動にも影響が及んでいることなどを踏まえ、地域としての合意形成が重要であると考え



亀井 博 人 議員

◎道の駅北側十字路の安全確保と国指定史跡「新庄藩主戸沢家墓所」へつながる南側の市道整備と誘導案内について伺います。

市長 令和3年交通量センサスによると、国道13号の交通量は1日あたり7351台となっております。国土交通省の将来推計によると令和12年度には1日あたり8900台となっております。

また、新庄藩主戸沢家墓所につながる南側の市道整備については、道の駅整備に伴い、国の交付金を活用した下水道整備や排水路整備工事を行いました。今後、交付金の対象外となった部分については舗装の劣化度合いや道の駅周辺環境整備を勘案して、整備を検討していきます。

また、新庄藩主戸沢家墓所への案内誘導については、道の駅休憩施設のデジタルサイネージの活用やパンフレット配置などの



道の駅付近

審議された議案

議員の賛否

請願の結果

常任委員会報告

一般質問

常任委員会提案研修報告

議員研修等報告

質問動画はこちら



東北農林専門職大学生向け住宅の現状と今後の対応策

このため、市としては、学生用住宅の確保は重要課題で、



大学生が暮らす定住促進住宅

◎東北農林専門職大学生向け住宅について
来年度までは入居が見込めるが、その後は現状のままでは部屋数の確保が困難になることが予想される。新たな住環境の整備について検討する考えはあるか。
市長 現在確保している居室が満室になれば、令和9年度には学生向けの居室を確保することが困難になることが想定されます。大学に関連して学生が増えることで、学生と地域との交流の拡大さらには卒業後に本市での就職や就業につながることも期待されます。



伊藤 健一 議員

クマの春季捕獲については、個体数の調整を目的に、県の捕獲許可に基づき実施されるため、県と協議し準備を進めます。
また、ブナ等の広葉樹の植栽と市の森林施策との連動については中期的課題と捉えており、国のクマ被害対策パッケージの活用のほか、森林環境譲与税やみどり環境税を財源とした事業の構築について検討していきます。

◎深刻化するクマ対策について
緩衝地帯整備や藪刈りの進捗・放任果樹対策、冬眠明け駆除の準備状況を伺う。また、ブナの豊凶周期が1年ごとといわれる中、中長期対策として、実のなる広葉樹の植栽を市の森林施策と連動させる考えはないか伺う。
市長 里山と市街地の間の緩衝地帯の鳥獣が潜みやすい草むらや藪などの環境整備のほか、収穫を行わないクリやカキなどの樹木の伐採による誘因物の除去などについて、市民へ周知し協力を呼びかけています。また、緩衝地帯の環境整備及び誘因物となる樹木伐採に対する補助制度を検討していきます。

質問動画はこちら



山科 春美 議員

市民が活躍する場の創出を！

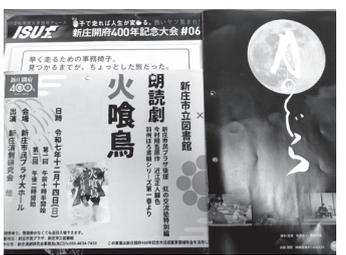
質問動画はこちら



◎泉田保育所は築49年となり老朽化が進んでいます。入所児童数の推移、現状と課題を伺います。また、公設公営で運営される予定となっていますが、設置の方法、運営の方法についての課題についてお聞かせください。
市長 定員80名に対し、令和2年は71名でしたが、令和7年4月1日現在では60名となっております。減少傾向が見られます。
泉田保育所の現状と課題については、昭和51年に建設され、老朽化対策など適宜修繕を行いつつながら、児童の安全性の確保や保育環境の向上に努めています。が、配慮が必要な児童のクールダウンルームがないこと等が課題と捉えています。
泉田保育所については、市全体の将来的な保育提供体制を確保しながら、さらなる少子化の状況や民間立施設の体制などを総合的に勘案し、最適な運営方

法や整備の方向性を検討する必要があると考えています。

◎新庄開府400年記念事業での市民提案事業は多くの団体が参加され、「市民の活躍の場を創ってくれた！」という喜びの声も聞かれますが、この経験を活かし毎年度行っていかがか。
市長 市民提案事業については、これまで、市制施行70周年など記念すべき年に、行政と市民が一緒に地域を盛り上げるため実施してきました。
今後、記念すべき年には、市民の皆さんと一緒に地域を盛り上げるための事業として実施していきたいと考えています。
今年、市民提案事業を通じ、多くの市民の方に参加いただき、地域の活性化にもつながったものと認識していますが、毎年実施するには、事業の目的や財源の確保など整理しなければならぬ課題も多くあります。
今年度の市民提案事業の効果なども検証しながら、今後も市民が活躍できる場の創出について検討したいと思います。



盛り上がった市民提案事業

審議された議案

議員の賛否

請願の結果

常任委員会報告

一般質問

常任委員会視察研修報告

議員研修等報告

質問動画は
こちらから



子どものネット依存・ゲーム依存対策を



たかはし ふみこ
高橋 富美子 議員

◎オンライン学習や情報収集が増えた一方、長時間にわたってインターネットを利用することで様々なリスクが懸念されています。本市の小中学生のネット依存の状況、ネット依存やゲーム依存が及ぼす悪影響への対策について伺う。

教育長 児童生徒のネット使用状況は、昨年度まで、小学校6年生、中学校3年生を対象とした全国学力・学習状況調査のアンケートの中に、1日あたりどれくらいの時間ゲームをするか、また、SNS利用や動画視聴をするかという項目がありました。結果は両学年ともゲーム、SNS等ともに3時間以上と答えた割合が全体の3割から4割となっており、全国平均よりも高くなっています。中にはネット依存が疑われる状況も把握しています。

また、悪影響に対する啓発活動と対策について、各校で道徳や家庭科、保健体育などの教科学習としてネットやゲーム等との関わり

方や危険性を学ぶとともに、最上教育事務所青少年指導担当や警察署等の外部講師を招いて、教員や児童生徒向けの講話を行っています。また、PTA主催により保護者を対象とした家庭でのネットの使い方研修の開催や、児童生徒会が主体となって適正なスマホ利用について自分たちでルール作りを行い実践している学校もあります。

◎ネット依存のチェックリストを使用して依存の状況を把握してはどうか。

教育長 学校においては、生活リズム調査等、各学校で独自に行っているものもあります。また、児童生徒会の中で、保健担当委員会の生徒が実際にアンケート調査を行って把握しているものもあります。学校では、生活リズムのあり方や健康に関する部分について学習していますが、チェックリスト等も有効であると思っています。児童生徒が自分自身の生活を振り返り、自分自身の様子に気付くためにも必要であるため、検討を進めたいと考えています。

『ネット・ゲームがやめられないのはなぜ?』
—依存のメカニズムと予防・回復のヒント—
—子どものゲーム依存と親の役割—

講師 山田 浩二 氏
講師 山田 浩二 氏
講師 山田 浩二 氏

日時 令和7年11月1日(土)
13時30分～15時20分

会場 酒田市総合文化センター

申込 電話 0234-24-5733 または
申込フォームにお申込み

ネット依存・ゲーム依存に関する講演チラシ

質問動画は
こちらから



屋内遊戯施設の検討状況は？

◎子育て世代へのアンケートでは屋内遊戯施設の充実へのニーズが高く、令和7年度施設方針においても屋内型の子育て支援施設整備の在り方や方向性について検討を進めるとありますが、現在の検討状況について伺います。

市長 人口減少が進む状況において、子どもたちが健やかに育つ環境を整えることはまちづくりにおける重要な課題の一つと捉えており、先進地の視察による調査研究を行い検討を進めています。その中で、既存公共施設の活用は施設の規模や空調設備などの面に課題があると認識しています。また、新たな施設を整備する場合も、工期や多額の建設費、維持管理費の確保が課題と認識しています。

こうした状況を踏まえ、既存施設である「わらすこ広場」のリニューアルによる機能向上や民間活力の導入、最上地域での連携など、幅広い選択肢を視野に入れる必要があると考えています。整備にあ

たっては将来的な人口動態や財政負担を見据え持続可能な施設となるよう、他の公共施設との複合化なども含め、多角的な視点から検討を進めます。

◎現在のわらすこ広場の利用状況を、気温や天候、滞在する時間帯の傾向などを分析したうえで、わらすこ広場で満たせていないニーズを明確にすることも必要だと思えます。市のわらすこ広場で満たせていないニーズに対する認識をお伺いします。

市長 わらすこ広場は小学校低学年までの利用としていますが、高学年の兄弟も一緒に遊びたいというご意見をいただいています。天井が低いため立体的な遊具がないことや、全体的なりリニューアルしていないため床や壁などが老朽化していることなどがニーズに対する課題と認識しています。



へんみ こうた
辺見 孝太 議員

も子育ての相談ができて、好評の声をいただいています。



まちの子育てステーション「わらすこ広場」

審議された議案 議員の賛否 請願の結果 常任委員会報告 一般質問 常任委員会視察研修報告 議員研修等報告



暮らしの安心は市政の使命

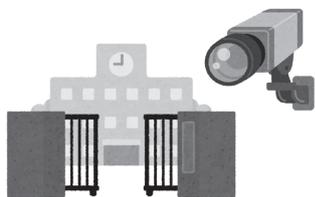


おしまとみや 小嶋 富 弥 議員

◎市内の小中学校に防犯カメラを設置し、クマ出没や不審者侵入に對してのリスク管理を早急に図る必要があると思いますが、市の考えを伺います。

教育長 学校を取り巻く安全安心な環境整備については、防犯対策の強化が求められていることに加え、学校施設付近へのクマの出没が多数報告されるなど、これまでになかった課題も発生しており、各学校からも防犯カメラ等の設置を要望されている状況です。

そこで、安全対策の強化のため設置済みである明倫学園以外の全ての学校に防犯カメラの設置を進める検討を始めています。



児童生徒の安全対策は一丁目一番地

◎市民の安全安心な生活が脅かされるクマ問題は深刻です。有害

鳥獣駆除は猟友会の協力なしではできません。ハンターの報酬は低額と聞いていますが、現状と課題、今後の対策について伺います。

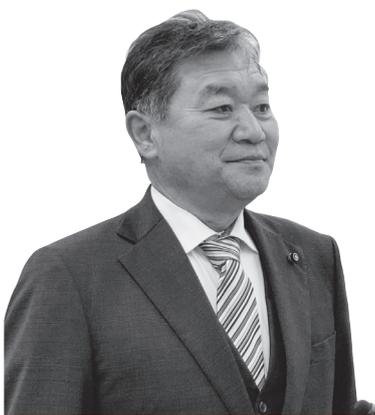
市長 本市の有害鳥獣駆除については、新庄猟友会と連携し有害鳥獣捕獲業務を実施しているほか、農林課が事務局を担う鳥獣被害防止対策協議会の実施主体として参画していただいています。

本市猟友会の会員数は40人ですが、ここ数年は横ばいで推移していますが、会員の高齢化や鳥獣の出没件数の増加による会員の負担増が喫緊の課題となっています。クマ対応については、市と警察、猟友会が連携して取り組んでいますが、クマの出没件数や捕獲件数の増加に伴い、罾の見回りや捕獲後の処理など、猟友会が担う役割について負担が増加している状況にあります。

また、本年9月1日に改正鳥獣保護管理法が施行されたことに伴い、市街地における緊急銃猟の実施に対応するための体制整備を進めており、今後も猟友会の負担がさらに増大することが懸念されています。そのため、負担軽減にかかる支援として、本年9月定例会において補正予算をご決いただきました。今後も猟友会と協議し、負担軽減に向けて必要な支援策について検討し、実施していきます。



担い手の確保と持続可能な農業の将来展望



こんたひろのり 今田 浩 徳 議員

◎担い手育成に向けて、産業高校、農林大学校、農林専門職大学と連携する計画はあるか。また、農業に取り組みたいと考えている方を対象としたリカレント教育の受け皿対策の考えについて伺う。

市長 新庄室産業高校、東北農林専門職大学、農林大学校の3教育機関が地域を支える人材育成の中核拠点であり、それぞれの強みを活かして、本市と連携を進めていくところです。

また、農業に意欲を持つ社会人の学び直し（リカレント教育）の受け皿としては、東北農林専門職大学と農林大学校がその中心的役割を担っていただいています。これらの教育機関が提供する実践的かつ専門性の高い研修プログラムを、新規就農希望者や現役農業者の経営高度化の場として最大限に活用できるように関係機関と連携して周知・支援を強化していきます。

◎国が示す施策が二転三転する中、自治体の判断が農業者の指針となり得ると「食料・農業・農村基本

法」で謳っていると理解している。持続可能な農業のために多様な農業者の育成を望むが、市の考え、今後の方向性をどう考えているか。

市長 国の施策が変動する中でも、食料・農業・農村基本法は、市町村に対し「その区域の自然的経済的社会的諸条件に応じた施策を策定し、及び実施する責務を有する」と定めています。

本市においても、基幹産業である農業の担い手の高齢化という現実に向き合い、この地域の特性を最大限に活かして、農業者の皆様が安心して経営に取り組める指針として「新庄農業振興地域整備計画」や「新庄農業経営基盤強化促進基本構想」を策定して取り組んでいます。

地域農業を守り、持続可能なものとして次世代へ引き継ぐことは、本市の未来を左右する重要な使命であると認識しています。農業者の皆様一人ひとりが誇りを持って、それぞれの農業の維持継続に取り組めるよう、農業関係者皆様の声をお聞きしながら、着実に支援を継続していきます。



出荷を待つ米

質問動画はこちらから



消費税5%減税こそ物価高対策では



さとう えつこ 議員

◎消費税減税こそ物価高対策ではないか。財源は、国債ではなく、大企業の法人税や所得1億円を超える大金持ちへの増税で捻出できる。市長の見解を伺う。

市長 消費税の減税については、社会保障費や地方財政の財源に影響を及ぼす可能性があるため、この点については国において議論すべき課題であると認識しています。

法人税の実質負担率

規模	法人税の負担率
大企業	10%
中堅企業	21%
小規模企業	19%

2025年5月25日付赤旗「主張」

◎医療・介護の赤字が深刻だ。診療報酬引き上げと人件費などのために国への財政出動の要請が必要ではないか。また、市として国へ国庫補助10%増額の要

望とともに、賃金の大幅引き上げ、事業所の経営安定のために一般会計で支援すべきではないか。

市長 本市においては、物価高騰等の影響を受けている医療機関の負担軽減と安定的な事業運営を支援するため、本年8月から9月にかけて、市内の有床病院や診療所等の68事業所を対象に、物価高騰等対策支援金交付事業を実施しています。また、物価高騰等の影響が地域における社会保障サービスの中心となる医療機関等の経営に甚大な影響を及ぼしていることから、国に対し、医療機関等への十分な財政支援を行うことを申し入れているところです。

また、若い人が介護職員として働けるよう賃金の大幅引き上げや介護事業所の経営安定のための支援については、全国知事会、全国市長会において、国に対し、各種制度の拡充や見直しをはじめ、人員確保の観点から、他業種と比べて遜色のない賃金水準となるよう底上げを図ることや、物価高騰に対する事業者への財政支援を行うことを申し入れているところです。

市の一般会計での支援については、国の物価高対策を踏まえながら、市としての対応を検討していきます。

質問動画はこちらから



スポーツ施設の環境整備を!!

◎東山の球場施設やテニスコートのLED化に留まらず、社会体育施設全体のより良い環境整備を市民は望んでいる。その中の一つである陸上競技場には、ナイター照明設備がないため、利用に支障が出ている。常設の照明設備の設置を求めるが市の考えはどうか。

教育長 陸上競技場の照明設備については、夕方以降の練習時間の確保や利用者の安全性を図るうえで必要な設備であり、また、大会運営や練習環境の質の向上にも資するものと認識しています。

照明設備の新設には多額の経費を要するほか、電気



日本陸上競技連盟公認第4種 全天候型 新庄市陸上競技場

設備容量の増強やランニングコーストなどの維持管理面での課題があるため、今後、体育施設全体の整備のあり方を見直す中で検討していきます。

◎ネーミングライツスポンサーの募集をし、スポーツ施設や公共施設の維持管理と新たな財源確保に役立ててはどうか。

市長 近年、県内外においてスポーツ施設等で施設命名権、いわゆるネーミングライツの導入が進んでいることは承知しています。ネーミングライツとは、企業等が施設の愛称に自社名やブランド名を付す権利を取得し、自治体はその対価を施設の維持管理費や改善費用に充てる仕組みであり、双方にとって利点がある一方、景観や地域イメージとの整合性など配慮すべき点もあると認識しています。

現在、社会教育課を中心に、県内外での自治体の実施状況、対象施設、契約期間、契約金額活用状況など情報収集を行っています。

本市でのネーミングライツスポンサーの募集については、ネーミングライツの導入が施設の維持管理費や更新投資の新たな財源確保に資する有効な手段であると考えているため、本市への導入に向けて検討を進めていきます。



すずき ほうこく 議員

審議された議案

議員の賛否

請願の結果

常任委員会報告

一般質問

常任委員会提案研修報告

議員研修等報告

産業厚生常任委員会 行政視察報告

10月15日から16日にかけて茨城県境町および常総市を訪れ、子育て支援施策や地域振興の取り組みについて視察を行いました。

境町では、若い世代が魅力を感じるまちづくりを進めており、PFI住宅を活用した移住促進や英語教育の充実など、子育て世代を支える多様な施策について説明を受けました。また、町内の子育て支援施設やアーバンスポーツ施設、道の駅などを見学し、民間的な視点を取り入れた行政運営が人口増加につながっている点が印象的でした。

常総市では、アグリサイエンスバレー事業について学びました。同事業は、圏央道IC開通を契機に農業の活性化と地域開発を一体的に進める取り組みで、道の駅を中心とした販売拠点の整備や、物流・農業関連施設の集積が進められています。地域農産物の販路拡大や雇用創出にも寄与しており、本市のIC周辺の道の駅を検討するうえでも参考となる事例でした。

今回の視察を通じ、両市の先進的な取り組みから多くの学びを得ることができました。今後の本市の施策検討に活かしてまいります。



境町での意見交換

令和7年度山形県市議会議長会議会報研修会

「令和7年度山形県市議会議長会議会報研修会」が、新庄市にて開催されました。他市でも「議会だよりを編集する委員会」が新庄市議会同様に設置されており、年に一度13市の編集委員会が毎年持ち回りで一堂に会す合同研修会となります。

昨年に引き続き、講師を引き受けていただいた議会広報アドバイザーの矢嶋洋美氏が、『議会だよりを「より強力な広報ツール」に！定期診断から見える進化とNextStep2025』と題し、昨年度と今年度の13市の紙面を見比べた定期診断・講師の視点（進化の確認）・NextStep（処方箋）を付けることで、互いに学び・考える場となりました。

「市民にとっては、議会だよりを＝（イコール）我が市議会と捉えます。読み物としてわかりやすく、チームとしての議会の存在意義をも知らしめる、強力なコミュニケーションツールとして、活かすも活かさぬも議会次第です！」の言葉に、議会を知らずして議会だよりを語るべからずの講師のスタンスをあらためて感じました。

「思いは必ず紙面に宿る！」の講師の格言を胸に、市民と議会を繋ぐより良い紙面づくりができるよう、我々議会報編集委員会もより一層尽力したいと思います。

日時：11月6日（木）

会場：新庄市民プラザ大ホール

講師：株式会社会議録センター編集部部长

議会広報アドバイザー 矢嶋 洋美氏



主催：山形県市議会議長会議

新庄市議会議員研修会

議会改革の取組の一環として、東北農林専門職大学の学生の皆さんと市議会議員による意見交換会を行いました。学生10人、議員17人が参加し、「新庄市のこれから」をテーマに、SOUNDカードを用いた対話型の研修として実施しました。

SOUNDカードは、カードに書かれた問いを手がかりに、一人ひとりが自分の考えを言葉にし、互いの話をじっくり聴くためのツールです。立場や年齢に関係なく、全員が発言できることが特徴で、今回も終始、活発で率直な意見交換が行われました。

特に印象的だったのは、全国各地から新庄に来て学んでいる学生たちが、想像以上に新庄の魅力を語ってくれたことです。自然、暮らし、人との距離感など、外から来たからこそ見える視点も多く、議員として多くの気づきを得ました。同時に、地域に密着した大学の存在の大きさを改めて実感しました。

若者の声を聴くことは、将来の新庄を考えるうえで欠かせません。今回の対話を一過性に終わらせず、今後の議会活動や政策提言にしっかりとつなげていきたいと考えています。学生が新庄で学び、関わり続けられる環境づくりについて、議会としても引き続き取り組んでいきます。

日時：11月28日（金）14：00～

会場：東北農林専門職大学

講師：青森大学社会学部教授 佐藤 淳氏



SOUNDカードを用いた学生との意見交換

第17回議会報告会

第17回目となる議会報告会を開催いたしました。今回は全議員が3つの班に分かれ、市内3会場にて実施いたしました。

当日は、まず初めに議会の仕組みや報告会の役割について解説し、本市が掲げる「まちづくりの大綱」を改めて確認いたしました。続く報告の部では、9月定例会での決算報告書に基づき、現在の新庄市の財政状況について詳しく説明を行い、市民の皆様と質疑応答を交わしました。

後半の意見交換では、参加された皆様から多岐にわたるご質問や切実なご意見をいただきました。議員がその場で回答するもの、また今後の市政へ反映させるべき課題として承るものなど、非常に貴重な意見交換の場となりました。

今回いただいた多くの声を真摯に受け止め、議会としてしっかりと市政に届けることで、より良いまちづくりの実現に寄与してまいります。

議会報告会にご参加いただいた皆様、ありがとうございました。

日時・会場：

11月25日（火）18：30～ わくわく新庄

11月26日（水）18：30～ 新庄市民プラザ

11月28日（金）18：30～ 雪の里情報館



わくわく新庄（11月25日）

田中功議員「懲罰処分」を受け、本会議で陳謝

新庄市議会は、12月17日、懲罰特別委員会（新田道尋委員長）を開き、田中功議員に対し「陳謝」の処分が相当とし、その後の本会議で処分を賛成多数で可決しました。

12月12日産業厚生常任委員会での「道路復旧工事についての請願」の審査の際、各委員の質疑、意見等を受けて採決したにもかかわらず、採決後に田中議員が委員長の許可なく不規則発言を行い議事を妨げたことは、議会の多数決の原則をないがしろにし、委員長の有する議事整理権、秩序保持権に従わず、議会の品位を損ねたとして、議員3名が懲罰動議を提出しました。懲罰特別委員会では、動議提出者及び本人から事情を聞いて審査を行った結果、「陳謝」の処分を科すことを決定しました。

田中功議員は、「議会の品位を保持し、秩序を守るべき議員の職責を顧みて誠に申し訳ない」と陳謝しました。

市民の声

地域で活躍する皆さまの声を紹介します。

Represent Showa



鈴木家4代目 鈴木 恭兵 さん



現在販売中の焼き芋 地域活性化活動の仲間たちと

私の暮らす地域「昭和」は、初代である曾祖父たちが、戦後の荒れ地を牛や馬とともに手作業で切り拓いた土地です。
 現在は、家族で稲作と酪農を営んでいます。
 また、「鈴木商店」「FatBoyz」として生産物の販売やイベントへの参加を行い、出張タイヤ交換の「スズキタイヤ」としての活動も行っています。
 地域活性化のために、仲間たちと立ち上げた2つの活動があります。
 縁日イベントや清掃ボランティアなどの地域交流を行う「Teamもがみ」。
 そして、音楽と食を軸に地元を盛り上げるイベント「グルサミ」。
 これらの活動の始まりには、コロナ禍しか知らない子どもたちにも、「みんなで力を合わせる楽しさ」や「誰かのために動くことの大切さ」を伝えたいという想いがありました。
 人と比較し、競い合うのではなく、協力しながら地元を盛り上げていける環境を広げていきたいと考えています。
 初代が開拓し、二代目が基盤を築き、三代目が発展させてきたこの場所で、四代目として自分にできることを形にしていきたい。
 助けてくれる人がそばにいてくれることへの感謝と、昭和の合言葉である「開拓する心」を忘れずに。
 四代目としての使命を果たし、この土地を五代目へどのように受け渡していくか。
 不安もありますが、それ以上に楽しみです。

3月定例会の予定

2月 19日(木)	請願締切	
3月 4日(水)	開 会	
5日(木)	一般質問	中継あり
6日(金)	一般質問	
9日(月)	一般質問	
10日(火)	常任委員会	
11日(水)	常任委員会	
12日(木)	予算特別委員会	中継あり
13日(金)	予算特別委員会	
16日(月)	予算特別委員会	
19日(木)	最終日	

開会は10時です ◇ 請願は随時受け付けております。

議会の傍聴について

どなたでも傍聴できます。受付票に住所・氏名を記入していただくほかは面倒な手続きはありません。団体の方は事前に議会事務局までご連絡ください。ぜひ、市役所3階議場に足を運んでください！

パソコンのほか

スマートフォン・タブレットでも
市議会ネット中継が視聴できます！



市議会
インターネット
中継



新庄市議会 中継

検索



市議会の様子をインターネット中継しています。市役所の市民課フロア、市民プラザでも視聴できますので、ぜひご利用ください。
 ※約1週間後に、録画したものがインターネットで視聴できます。

あとがき

今冬、除雪車の初出動は12月5日だった。市道、歩道、生活道路合わせて約302キロを除雪。
 早朝10センチ以上の降雪で、除雪車は出動する。その技術は巧みで道路状況は一変する。ありがたい。

自宅前の雪の塊を流雪溝に入れる、重い。必要に迫られ、運動と考え、日々除雪に励む。いつまで続けられるかとも思う。「住みよさ」を決める重要な除雪作業。除雪車が来なければ新庄には住めない。「まつりと雪のふるさと」新庄で雪との闘いは続く。
 (記・亀井 博人)

議会報編集委員の紹介

委員長	鈴木 法学
副委員長	伊藤 健一
委員	鈴木 啓太
委員	亀井 博人
委員	鈴木 孝太
委員	辺見 浩徳
委員	今田 浩徳